

検診事業における予後調査について

～令和2年度 厚生労働省 行政担当者会議～

油症ダイオキシン研究診療センター 相談支援員総括 川上 義仁
全国油症治療研究班 班長 辻 学
全国油症治療研究班 前班長 古江 増隆
国立循環器病研究センター 疫学研究推進室 室長 小野塚 大介
福岡県保健環境研究所 企画情報管理課 課長 高橋 浩司
油症ダイオキシン研究診療センター 看護師 中村 優子
油症ダイオキシン研究診療センター 事務員 勝野 裕子

背景

- ・油症患者の予後と死因を長期的に追跡調査し各種疾病による死亡リスクを評価していく事は人体におけるダイオキシン類の長期健康影響を明らかにする上で非常に重要
- ・前回の追跡調査結果の報告からすでに10年以上経過しており、人体におけるダイオキシン類曝露の長期影響に関して、最新の知見を得ることが喫緊の課題

目的

- ・油症患者の追跡調査のアップデート
- ・油症患者における死亡リスクの再評価

調査の実施について

・本調査は 平成二十四年法律第八十二号 「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」 第一条（目的）・第三条第二項（基本理念）・第四条（国の責務）・第五条（関係地方公共団体の責務）・第十条（健康状態の把握）・第十一条（診断基準の見直し並びに調査及び研究の促進等）・第十三条（情報の収集提供体制の整備等）に基づき実施

- ・厚生労働科学研究費指定研究に基づき実施

調査の概要

1. 認定患者名簿における情報のすり合わせ

→ 全国油症治療研究班・関係自治体・カネミ倉庫の保有認定患者情報のすり合わせ

→ 氏名・性別・生年月日・現住所地の情報のすり合わせ

2. 認定患者情報の正確性を確認（生死の確認等）

→ 住民票（本籍地付き）・除票（本籍地付き）・戸籍等で確認を行う

3. 人口動態統計より死因を特定

→ 氏名・性別・生年月日・死亡年月日・死亡届を提出した市町村名を突合し死因を特定
96%の確率で本人特定が可能

調査対象者・調査期間

・ 調査対象者：カネミ油症認定患者

→ 生存者及び死亡者

・ 調査期間：2008年1月1日～2017年12月31日

調査項目

- ・ 氏名
- ・ 性別
- ・ 生年月日
- ・ 死亡年月日
- ・ 死亡届を提出した市町村名

関係都道府県の業務

- ・ 認定患者名簿のすり合わせ

→ 氏名・性別・生年月日・現住所地

- ・ 調査対象者の公文書請求

→ 住民票（本籍地付き）・除票（本籍地付き）

全国油症治療研究班の業務

- ・ 認定患者情報のすり合わせ

→ 氏名・性別・生年月日・現住所地

- ・ 公文書請求対象者の選定及び対象者リストの作成

→ 氏名・性別・生年月日・現住所地より作成

- ・ 戸籍の請求

→ 死亡届を提出した市町村名の確認

- ・ 人口動態統計を用いて死因の解析及び結果報告

→ 論文等で報告

認定患者名簿のすり合わせについて

・ 長崎県・福岡県・広島県・高知県・愛知県・愛媛県・茨城県・岡山県・沖縄県・京都府・熊本県・佐賀県・埼玉県・三重県・山口県・滋賀県・鹿児島県・秋田県・新潟県・神奈川県・静岡県・石川県・千葉県・大分県・長野県・鳥取県・島根県・栃木県・奈良県・兵庫県・北海道・和歌山県

計**32都道府県**で認定患者情報のすり合わせを実施

→ 氏名・性別・生年月日・現住所地の項目で実施

生存者の分類について

- ・生存者：2017/2018/2019年度油症検診受診者のみ

- ・生存者：2017/2018/2019年度油症検診受診者及び健康実態調査協力者

*2017/2018/2019年度健康実態調査協力者のみ（油症検診受診歴なし）の方については生死不明者に分類

→前回の調査時点において、まだ健康実態調査が実施されておらず条件をそろえる為、健康実態調査での生死の確認は行わない

死亡者の分類について

- ・氏名・性別・生年月日・死亡年月日・死亡届を提出した市町村名が正しく確認されている方のみ死亡者に分類

→公文書（除票・戸籍等で確認できていれば尚可）

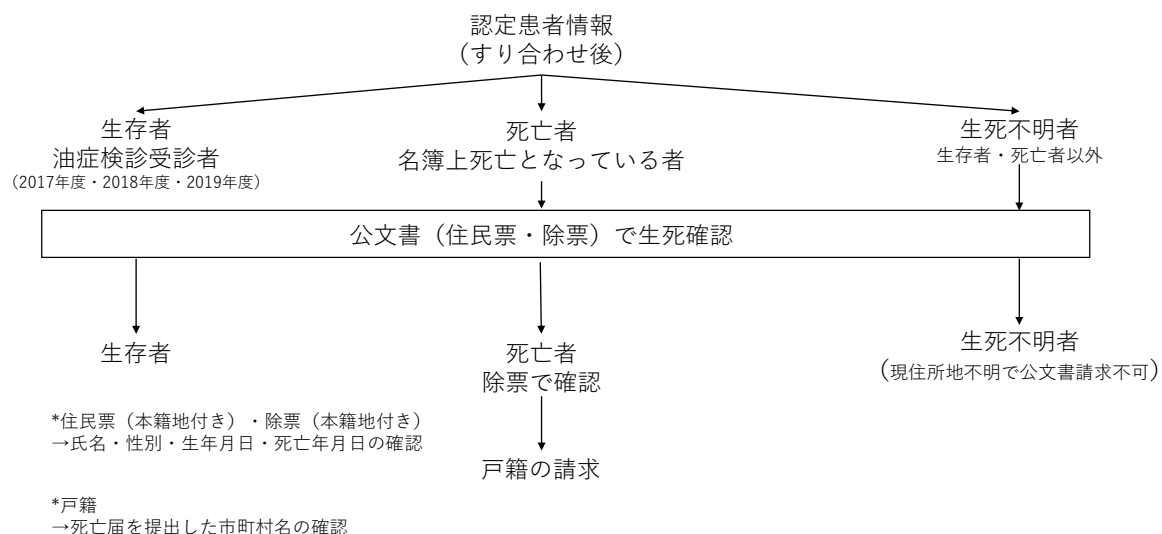
生死不明者の分類について

- ・あて先不明（現住所地不明）により公文書請求 **該当なし** を確認
→ 公文書（住民票・除票）で生死の確認ができない→ **生死不明者**

問題点について

- ・ 公文書（除票）保管年数を超えている為、抹消となっている方を確認
→ 除票の保管期間（5年間）を超えている為抹消されている方
- ・ 現住所地不明者を確認→生死不明者に分類

まとめ



ご挨拶

本調査事業は、これで最後となります。

ご協力頂いた関係者の皆様方には心より御礼申し上げます。

これからも、カネミ油症患者救済事業へのご協力の程をよろしくお願い致します。

本当にありがとうございました。